

クシシステムがスタート



住民基本台帳ネットワークシステム（以下、住基ネット）は、各種行政手続きの基礎となる情報を専用の通信回線で結び、市区町村の枠を越えた事務処理や、国の行政機関などに対する本人確認情報の提供を行うことを目的とした全国規模のシステムです。

住基ネットってどんなもの？

住基ネットの情報は、氏名、生年月日、性別、住所、住民票コード（情報をやりとりするための番号）と、これらの変更情報に限定されています。八月五日から、これらの情報をネットワーク化することで、みなさんが、行政機関への申請・届出を行うとき必ずとされていた「住民票の写し」の添付が不要となります。

「住民票の写し」が不要となる主な申請・届出

- 雇用保険の給付
- 労災保険の給付
- 恩給の支給
- 共済年金の支給
- 建築士の免許登録

宅地建物取引業の資格登録など

「住民票の写し」の添付が不要となる時期など詳しくは、申請・届出窓口にお問い合わせてください。



住民票コード

ネットワーク構築に必要な可欠な住民票コード（十一桁